

平成26年3月期 決算説明会

2014年 5月21日

森永製菓株式会社

将来予測・業績予想について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、計画、目標など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定を基礎としたものであり、将来における当社の実際の業績または展開と異なる場合があります。

平成26年3月期
通期業績
(平成25年4月～平成26年3月)

通期【連結】業績(平成25年4月～平成26年3月)

(単位:百万円)

	H26年3月期	前期実績	前期比較 (前期比)
売上高	164,603	152,885	11,718 (107.7%)
営業利益	3,858	2,695	1,163
経常利益	4,446	2,973	1,473
当期純利益	8,090	1,419	6,671

■売上高

- ・主力の食料品製造事業が増収
- 菓子部門、冷菓部門及び海外の増収が大きい

■損益

<増益要因>

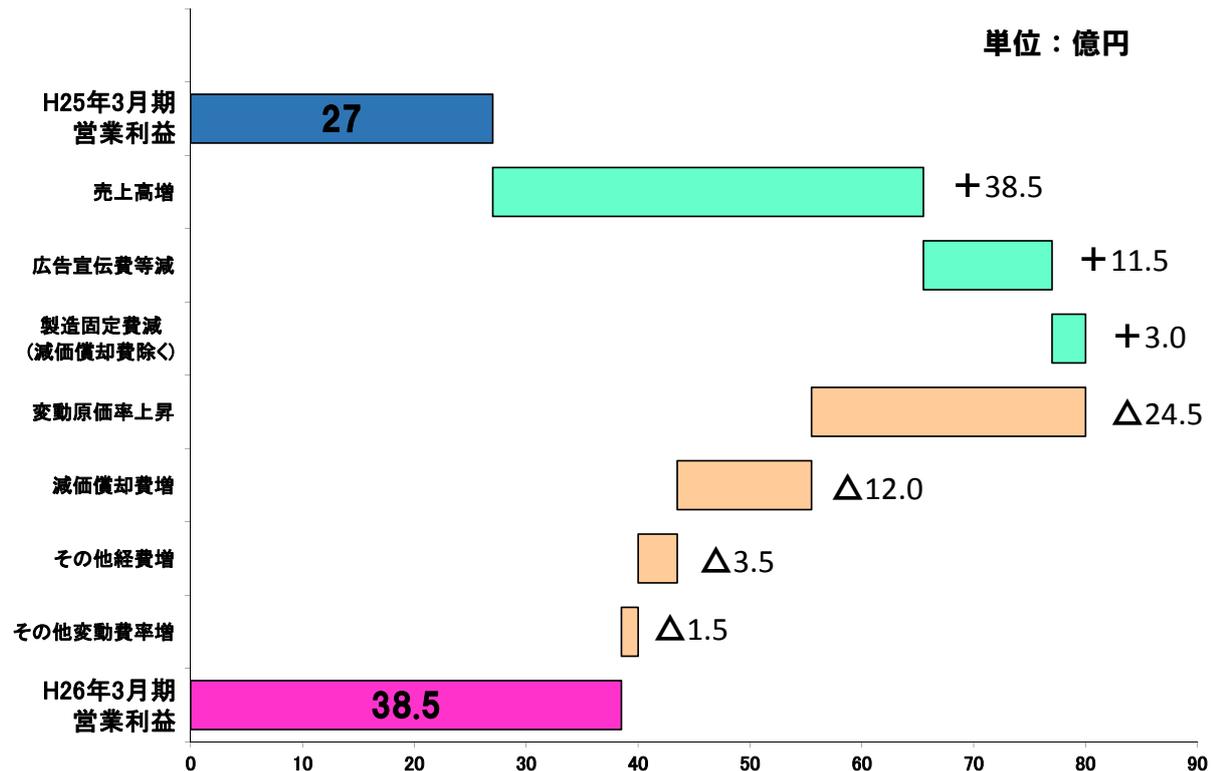
- ・売上高増加
- ・広告宣伝費の低減

<減益要因>

- ・売上原価率上昇

通期【連結】営業利益増減要因

単位:億円



通期 セグメント情報(平成25年4月～平成26年3月)

(単位:百万円)

事業 (売上構成比)	売上高 前期比	セグメント利益 (前期比較)	
食料品製造 (93.4%)	153,765 108.5%	3,085 (1,175)	<p>■食料品製造 国内では森永製菓の増収増益が大きい</p> <p>海外では米国森永製菓の売上高伸長</p> <p>今期より森永キノインドネシアが連結(2ヶ月分が連結対象)</p> <p>■不動産サービス ゴルフ事業における2月の積雪によるクローズが大きく影響して減収減益</p>
食料卸売 (4.5%)	7,416 97.4%	542 (58)	
不動産サービス (1.7%)	2,839 95.7%	795 (△53)	
その他 (0.4%)	582 101.8%	202 (27)	

通期 売上高の状況(平成25年4月～平成26年3月)

(単位:百万円)

	売上高	前期比較	前期比
連結売上高	164,603	11,718	107.7%
食料品製造	153,765	12,036	108.5%
菓子	86,725	7,043	108.8%
食品	14,745	1,263	109.4%
冷菓	28,827	2,369	109.0%
健康	22,129	1,001	104.7%
その他	1,337	358	136.6%
(海外)	(6,139)	(2,970)	(193.7%)

通期 売上高の状況コメント

- 菓子 108.8%
 主力7ブランド合計は前年同期実績並み、「カレ・ド・ショコラ」好調に推移。また平成25年1月より販売開始した「プリングルズ」の売上増が大きく寄与。海外売上も伸長。
- 食品 109.4%
 「ミルクココア」が前年同期実績を上回り、夏場も伸長した「甘酒」が好調。森永キノインドネシアが連結。
- 冷菓 109.0%
 「チョコモナカジャンボ」と「バニラモナカジャンボ」好調。特に「チョコモナカジャンボ」は13年連続売上高伸長。
- 健康 104.7%
 「ウイダーinゼリー」が回復基調。
 「おいしいコラーゲンドリンク」を中心に通販事業は引き続き好調。
- 【上記内訳の海外】 193.7%
 台湾森永製菓が増収、米国森永製菓で大きく伸長、更に今期より森永キノインドネシアが連結（2ヶ月分が連結対象）

カテゴリー別状況(平成25年4月～平成26年3月)

単位：%

カテゴリー	市場データ ※1			当社主力ブランド	当社出荷実績 前期比
	市場前期比	当社前期比	シェア (前期比較)		
キャラメル・キャンディ	102	104	9.1 (+0.2)	ミルクキャラメル ハイチュウ	95 107
ビスケット	99	99	10.0 (0.0)	森永ビスケット	98
チョコレート	108	101	7.1 (Δ0.4)	チョコボール 小枝 ダース	94 86 106
スナック	102	151	4.2 (+1.4)	おととと	98
ココア	97	96	38.6 (Δ0.5)	ミルクココア	107
アイス	104	113	7.7 (+0.6)	ジャンボグループ	118
口栓付きパウチ	105	102	44.2 (Δ1.0)	ウイダーinゼリー	102

※1 カテゴリーデータ出典：(株)インテージSRIデータ 全国、当社定義による分類、販売金額ベース
 森永製菓株式会社

【製菓単独】売上ポートフォリオ 前期比較

単位：%

当社主力ブランド		2Q累計	3・4Q	年間	製菓内構成比
菓子	ミルクキャラメル	92	98	95	
	ハイチュウ	106	108	107	
	森永ビスケット	93	102	98	
	チョコボール	93	95	94	
	小枝	75	96	86	
	ダース	101	108	106	
	おととと	93	104	98	
	菓子計	96	103	100	28.4 (Δ2.1)
食品	ミルクココア	105	107	107	2.0 (±0.0)
冷菓	ジャンボグループ	123	108	118	8.7 (+0.8)
健康	ウイダーinゼリー	103	102	102	11.1 (Δ0.5)
主力ブランド計		103	104	103	50.2 (Δ1.7)

reserved.

8

平成27年3月期
通期業績予想
 (平成26年4月～平成27年3月)

平成27年3月期 通期【連結】業績予想

(単位:百万円)

	平成27年3月期 予想	平成26年3月期 実績	前期比較 (前期比)
売上高	178,700	164,603	14,097 108.6%
営業利益	3,550	3,858	△ 308
経常利益	4,000	4,446	△ 446
当期純利益	2,450	8,090	△ 5,640

■平成27年3月期予想

<売上高>

- ・国内 菓子、食品、冷菓は微増収
- ・健康及び海外で増収計画

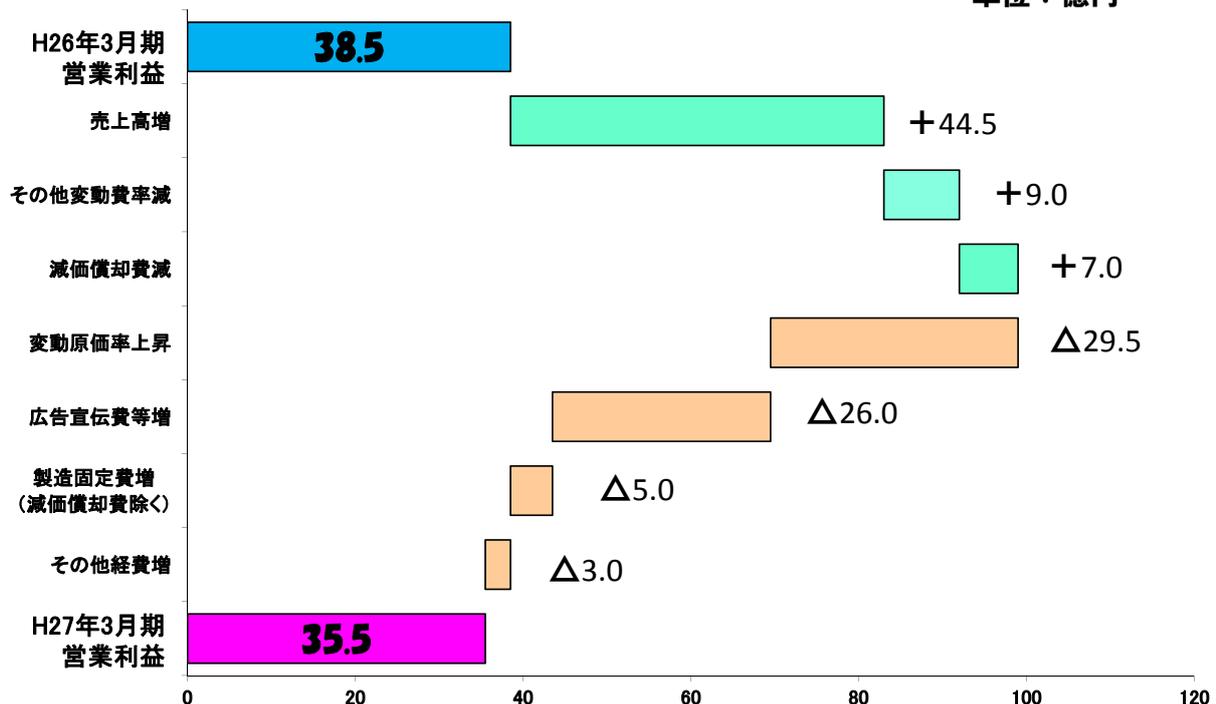
<損益>

- ・原材料単価高騰による売上原価率悪化
- ・売上拡大に向けた広告宣伝費の積極的投入

⇒通期で増収減益の計画

通期予想【連結】営業利益増減要因

単位:億円



通期予想 セグメント情報(平成26年4月～平成27年3月)

(単位:百万円)

事業 (売上構成比)	売上高 前期比	セグメント利益 (前期比較)
食料品製造 (93.9%)	167,800 109.1%	2,400 (△ 685)
食料卸売 (4.3%)	7,600 102.5%	550 (8)
不動産サービス (1.5%)	2,750 96.9%	800 (5)
その他 (0.3%)	550 94.5%	200 (△ 2)

食料品製造

■売上高

- ・国内 102.8%
- ・海外増収計画 260.6%
- 米国森永製菓増収
- 森永キノインドネシア連結

■損益

<増益要因>

- ・売上高増
- ・販売費等の変動費率低下

<減益要因>

- ・原材料費高騰等による変動原価率の上昇
- ・広告宣伝費等のマーケティングコスト増

食料品製造	予 想	前期比較(前期比)
国 内	151,800	4,174(102.8%)
海 外	16,000	9,861(260.6%)

森永製菓株式会社

Copyright(C) MORINAGA & CO., LTD. allrights reserved.

12

【製菓単独】売上ポートフォリオ 予想

単位: %

当社主力ブランド		2Q累計	3・4Q	年間	製菓内構成比
菓子	ミルクキャラメル	95	101	98	
	ハイチュウ	107	105	106	
	森永ビスケット	99	89	93	
	チョコボール	104	109	107	
	ダース	101	93	96	
	おととと	102	102	102	
	菓子計	102	98	100	25.7(△1.1)
食品	ミルクココア	97	106	104	2.0(±0.0)
冷菓	ジャンボグループ	101	104	102	8.5(△0.2)
健康	ウイダーinゼリー	103	118	109	11.6(+0.5)
主力ブランド計		102	103	102	47.8(△0.8)

森永製菓株式会社

Copyright(C) MORINAGA & CO., LTD. allrights reserved.

13